

東日本大会の現状について

2023 年 12 月 2 日
2024 年度幹事長 赤坂美穂

○現状

本来、東日本大会は関東と北海道で交互に開催するものとしてが、北海道支部の交通費を援助することで関東支部での開催が続いていました。しかし、コロナ禍の影響で関東支部からの援助が出せなくなり、北海道支部からのエントリーが減り、AR の団体すら出せない状態になってしまいました。さらに、以前は支部間交流を図るために北海道支部から学連員が出役することもありましたが、学連宿などのコストがかかるためそれも無くなりました。

これらのことから、関東支部では大会自体が不要なのではないかとの話が常に出ているそうです。これを受け、北海道支部でも今後の大会の存続について議論すべく、今回議題として取り上げさせていただいたものです。

○今年度の東日本大会の出場状況（支部全体で）

- AR60…3 名（北海道大学 2 名、札幌国際大学 1 名）
- AR60W…2 名（北海学園大学 2 名）
- AP60…1 名（北海道大学 1 名）

（参考：過去開催年の参加人数 2020 年、2019 年は開催なし）

	2023	2022	2019	2018	2017
AR60	3	4	4(団体あり)	3(団体あり)	6(団体あり)
AR60W	2	1	1	1	3(DSQ1、団体あり)
AP60	1	0	0	0	0
SB	0	1	0	0	0

コロナ禍後は団体を出すことができない状況が続いている。このまま支部団体すら出せない状態が続けば、関東支部の不満も大きくなり、大会存続が危ぶまれる。

○来年度以降の方針

来年度は AR 所持者が増え、うまくいけば大学内で団体が出せる見込みであるため、大会は開催する方針。その後も順調に AR 射手が増えれば、継続して団体を出すことができそうである。

大会自体を廃止し、代わりとして合宿などを行うことも案として出されたが、関東支部のレベルの高い射手を目の当たりにして刺激を受けた、という選手からの意見もあったことを考慮すると、今すぐの廃止は難しいと考えられる。

来年は開催し、その後の方針は大会終了後に再度検討する。

○来年度の予定（仮）

期間：9月20日（金）～22日（日）（関東支部の秋季大会と同時開催）

場所：栃木県ライフル射撃場

この日程だと北海道支部の冬学と被ってしまうため、現在関東支部の幹事長と日程調整を行っている。